

サービス連合15-28号

2015年11月5日

一般社団法人 日本旅館協会

会長 針谷 了 殿

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会

会長 後藤 常 康



サービス連合「メニュー表示適正強化月間」への協力をお願い

錦秋の候、貴団体におかれましては益々ご発展のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、弊会の諸活動にご理解とご協力を賜りまことにありがとうございます。

サービス連合では、一昨年の宿泊業における食品表示問題に対し、消費者・社会からの宿泊業に対する不信感が高まり産業の基盤を揺るがすことになりかねないとの危機感から、2014年7月にとりまとめた「食品表示問題に関する報告書」で、産業活動の社会的公正さと観光立国にふさわしい産業の発展にむけ、労働組合が経営に対するチェック機能を発揮し、社会的な責任を果たすことの重要性について改めて確認し、毎年11月を「メニュー表示適正強化月間」に設定することを確認しました。

この間、法律の整備が進みましたが、この問題を風化させることなく、再発防止にむけ自主的に意識啓発や点検・確認活動など必要な取り組みを強化し、労働組合としての社会的責任を果たし産業の発展を促すため、以下の取り組みを行っておりますので、ご報告申し上げるとともに、引き続きのご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 取り組み期間

2015年11月1日（日）～2015年11月30日（月）

2. 具体的な取り組み

- ①サービス連合作成のポスターを掲示し、意識啓発をはかります。
- ②メニュー表示の適正に向けたチェックを労使双方で確認します。
- ③メニュー表示の適正に向けた課題について、労使で話し合いを行います。

上記取り組みに対し、ご理解をお願いするとともにご協力をお願いいたします。

以 上